

eスポーツによるまちづくり

「eスポ×観光×福祉×教育」プロジェクト



熊本県 山鹿市

KUMAMOTO YAMAGA-CITY



山鹿市について



山鹿市は熊本県の最北に位置し、福岡県と大分県に隣接。
熊本県の北の玄関口としての役割を果たしています。

アクセス

- マイカーで
熊本市から約60分
福岡市から九州自動車道利用で約70分
- 阿蘇くまもと空港利用で
路線バスで約110分
- 福岡空港利用で
高速バス利用で約95分
- 新幹線利用で
J R 博多駅 → J R 新玉名駅 → 路線バスで約90分

山鹿市について

平成17年1月に1市4町が合併

菊池川流域の肥沃な土地に恵まれた豊かな自然と歴史・伝統に育まれた文化の香り高い地域です。

人口 50,966人 (2021年6月末現在)

○世帯数 21,924世帯 ○高齢化率 37.8%

産業 基幹産業：農業・観光業



山鹿市の農産物

“食の王国”山鹿 には 美味しくて新鮮な農作物 が盛り沢山！

平坦部：稲作、スイカ、メロン、いちご等の園芸作物

山間部：栗、タケノコ、茶等の栽培



山鹿市で生産された葡萄を原料とする人気の「菊鹿ワイン」。「観光と農業の連携・複合化」のモデルとして2018年11月に菊鹿ワイナリーがオープン。

西日本一の生産量を誇る山鹿和栗

山鹿市の観光資源（1）

特徴

① やまが温泉郷

（山鹿・平山・菊鹿・熊入・鹿本）



旅館・ホテル・キャンプ場等 45軒

② 豊前街道



宿場町の風情を色濃く残す
豊前街道の町並み

③ 山鹿灯籠まつり



毎年8月の15日16日に行われる
肥後3大夏祭りのひとつ
「山鹿灯籠まつり」

山鹿市の観光資源（2）

©Yamaga

八千代座



国指定重要文化財。
現在でも日本を代表する歌舞伎役者の
公演や、市民の発表会の場として使われ
ています。



さくら湯



370年の歴史を有する山鹿温泉の元湯で、
江戸期の建築様式を色濃く残す九州最大
の木造温泉施設。



山鹿市の観光資源（3）

史跡

【装飾古墳】 全国の装飾古墳のうち3分の1が熊本県内に集中（約200基）
そのうちの約60基が山鹿市にあります。

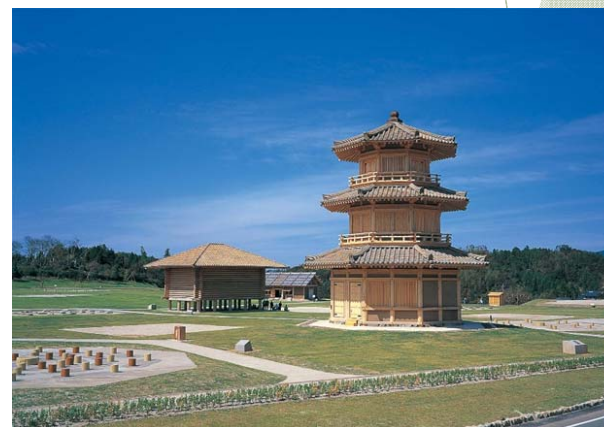
チブサン古墳、弁慶ヶ穴古墳など数多くの装飾古墳群や、邪馬台国時代の
県内最大の集落遺跡(方保田東原遺跡)、大和朝廷によって築かれた鞠智城
など多くの国指定史跡を有しています。



チブサン古墳



岩原古墳群



歴史公園鞠智城

山鹿市の伝統工芸品

山鹿灯籠

【国指定伝統的工芸品】
和紙と糊だけで作られる究極の和紙工芸



金灯籠



宮造り灯籠

来民うちわ



江戸時代から受け継がれる伝統。
使うほどに色合いを増す和紙工芸。



山鹿市の課題

課題 1 : 観光

コロナ禍において観光客は激減し、特に合宿などの団体客を受け入れている宿泊施設への影響は多大。また、飲食店が多数点在する豊前街道沿いの交流人口も減少。中心地にあるさくら湯などの一部施設が十分に活用されていない。

課題 2 : 福祉

少子高齢化の進展により、介護に対する不安を抱く高齢者や家族が増加。健康や体力に自信がない、趣味や生きがいを持たないとする障がい者も多数存在し、健康寿命を延ばすための介護予防の早期介入、互助による支えあいの仕組みづくりや生きがいづくりが必要。

課題 3 : 教育

地域社会のつながりや支え合いの希薄化等による地域社会の教育力の低下、グローバル化や情報化が進展する社会に対応した教育内容の充実が必要。



まち 人輝き飛躍する都市 やまが ～人と自然・産業・歴史文化が響き合うまちづくり～

人と自然が
響き合う
まちづくり

豊かな自然や環境と調和した
まちづくりを目指します。

人と産業が
響き合う
まちづくり

地域資源を生かした戦略的な
産業振興を目指します。

人と歴史文化が
響き合う
まちづくり

固有の歴史や伝統を大切に保
存・継承・活用するとともに、
創造性に富んだ文化が息づく
まちづくりを目指します。

～後期基本計画策定（令和3年10月頃）に向けて調整中～

【先導施策1】多様な戦略による産業振興と雇用創出のまちづくり

新規) ICT活用にぎわい
づくりプロジェクト

eスポーツなどの大会や合宿を誘致して交流人口を拡大
するだけでなく、ICTを活用した高齢者と若年者の世
代間交流や健康づくり、教育文化の振興などを図り、新
たなにぎわいを創出します。

事業説明①

「eスポ×観光×福祉×教育」プロジェクト

明治の芝居小屋「八千代座」での本格的なeスポーツイベントを核に地域一帯でeスポーツを活用したまちづくりを進めます。

また、温泉観光地として知られる山鹿市の特性を活かし、eスポーツと組み合わせた新たな観光施策を追及します。

■これまでの取り組み

- ・ 山鹿eスポーツセミナー開催 (R3.3.23)
- ・ 熊本eスポーツ協会との連携協定締結 (R3.6.21)
- ・ 山鹿市出身の中島賢一福岡eスポーツ協会長へ山鹿創生アドバイザーを委嘱 (R3.6.21)
- ・ 福祉施設でのeスポーツ体験会実施 (R3.6.22～7.3)



事業説明②

「eスポ×観光×福祉×教育」プロジェクト

×観光

明治の芝居小屋「八千代座」をeスポーツ大会会場として活用。やまが温泉郷でのeスポーツファンの集い「温泉LAN」の開催。高校生や大学生のeスポーツ合宿の誘致を行います。

×福祉

高齢者・障がい者(ソーシャル)eスポーツを広げ、認知症予防やリハビリへの活用。また、生きがいづくりによる孤独防止や、生活の質の向上につなげます。

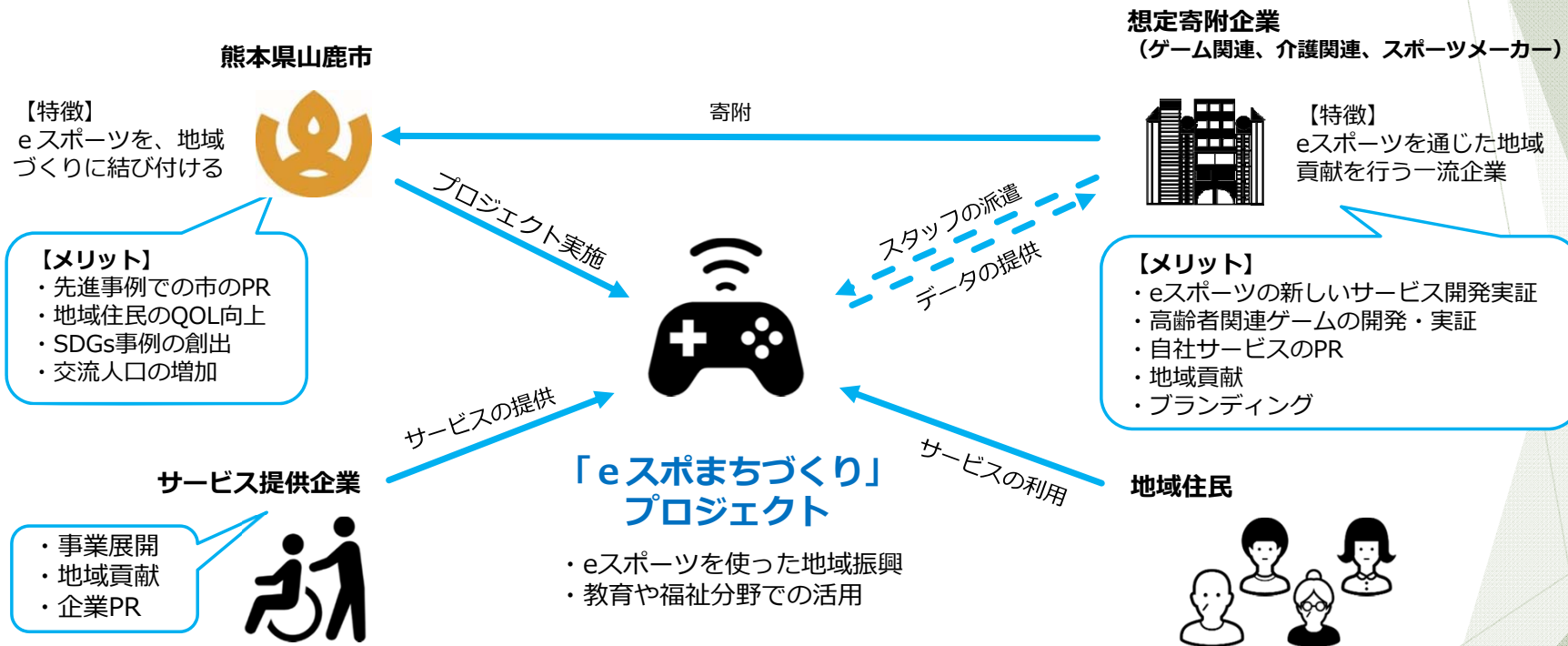
×教育

eスポーツを活用した小学生対象の教育プログラミング授業の推進。
eスポーツを活用し、配信動画編集などICT技術に触れることでIT人材の育成。
親子でのプログラミング教室などの開催。

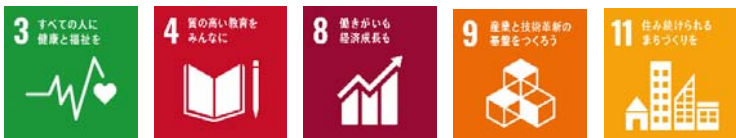
1例として、10月に開催される地域のまつり「来民門前市」の中で、子どもたちと、障がい者とのオンラインeスポーツ大会の開催。併せて、地域の方へのeスポーツ体験会を実施します。商店会や高校生など地元の皆さんも積極的に運営に携わります。

プロジェクトイメージ

プロジェクトイメージ



SDGsターゲット



企業メリット

山鹿市は企業の皆様と共同で「eスポーツによるまちづくり」を、進めてまいりたいと考えております。
寄付にご協力いただきますと、

- 山鹿市公式ホームページや広報誌など各種媒体での寄付企業紹介
- 寄付贈呈式の実施(本市記者クラブへの積極的な掲載依頼)
- 国指定伝統的工芸品である山鹿灯籠「金灯籠」へ企業様ロゴ等を入れて贈呈
- eスポーツイベント等への寄付企業の露出
- 試供品のご提供に対するモニタリングの実施
- 山鹿市への視察・社員研修受入

その他、企業様のご希望を伺いながらご相談させていただきます。

最後に

eスポーツは国内市場においても徐々にその規模を拡大し、今後も成長が見込まれています。年齢を問わず簡単にプレーできるなど健康づくりやリハビリ、認知症予防といった福祉や医療分野での活用も進みつつあります。

さらに若年層にPR効果が高いイベントは規模、事業費ともに自由度が高く、コロナ禍の中でもオンライン大会を開催することが可能で、地域活性化のツールとして大きな可能性を秘めています。

山鹿市としましては、企業様やeスポーツ協会様の知恵をお借りしながら、観光、福祉、教育にeスポーツを活用してまいります。

どうぞ山鹿市への寄付につきましてご検討よろしく願いいたします。
ご清聴ありがとうございました。

お問い合わせ

熊本県山鹿市 経済部 ふるさと未来総室 担当:富田

TEL:0968-41-5673 FAX:0968-43-8795

MAIL: furusatomirai@city.yamaga.kumamoto.jp